

日経バーチャル・グローバルフォーラム「宇宙の未来」、12月8日に開催

日本経済新聞社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：長谷部剛）は12月8日、宇宙をめぐる様々なトピックを幅広く議論する日経バーチャル・グローバルフォーラム「宇宙の未来」を開きます。地球上の課題解決の可能性を秘める宇宙の存在は、各国政府・産業界にとって新たなフロンティアと位置づけられ、宇宙旅行や民間参入など新たなプレーヤーによって、その裾野は広がっています。本フォーラムではそんな宇宙開発を推し進める日米の第一人者が一堂に会し宇宙の未来について議論します。

講師は、ビル・ネルソン NASA 長官、末松信介文部科学大臣、ピーター・プラッツァー米スパイア・グローバル CEO、金井宣茂 JAXA 宇宙飛行士ほか、宇宙開発を担う企業代表者や専門家を予定しています。司会は元 JAXA 宇宙飛行士の山崎直子氏、NASA アジア担当代表のガーヴィー・マッキントッシュ氏、日本経済新聞編集委員の小玉祥司です。



【開催趣旨】

かつて遠い存在の象徴として語られた宇宙が様々な面で身近な存在になりつつあります。SF映画の世界の出来事だった宇宙旅行が現実に語られ、小惑星探査機「はやぶさ」の活躍などで日本でも空前の「宇宙ブーム」が到来しています。

宇宙ビジネスに目を向ければ、長らく世界の宇宙開発をリードしてきた米国では、いち早く官から民間企業への産業移管がすすみ多くの新規プレイヤーが活躍しています。日本においても近年、宇宙関連法の整備がすすみ、民間企業が宇宙開発に参入する道が広がり、宇宙ビジネスに関するニュースも頻繁に見聞する時代になってきました。

当フォーラムでは、米国と日本の連携をバックボーンとして、月旅行から新たなビジネスチャンスとしての場、そして未来のパワーゲームの舞台など宇宙を巡る様々なトピック、案件、ビジョンを多岐にわたって議論し、老若男女が一様に宇宙に関する知識、教養を高められる包括的な「宇宙シンポジウム」を目指します。

12月8日午前9時（日本時間）開始。視聴は無料。日英2ヶ国語で放送し、開催後はアーカイブでご覧いただけます。

フォーラムの詳細とご登録はこちらから。<https://www.global-nikkei.com/nvgf-space/>
お問い合わせは nvgf-space@nex.nikkei.co.jp（NVGF「宇宙の未来」事務局）まで。

日本経済新聞社について

日本経済新聞社は1876年以来、140年にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えてきました。約1500人の記者が日々、ニュースを取材・執筆しています。主力媒体である「日本経済新聞」の販売部数は185万部、2010年3月に創刊した「日本経済新聞 電子版」をはじめとするデジタル有料購読数は86万で、有料・無料登録を合わせた会員数は500万を上回っています。

本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 広報室 TEL:(03)3270-0251 (代表)